

令和8年度「みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議」運営等業務 に関する質問及び回答

No	仕様書「4 業務委託の内容」の項目	質問	回答
1	(1) 県民会議「脱炭素ライフ推進部会」及び「省エネ建築推進部会」の企画・運営 イ「マイボトル推進プロジェクト」「再配達防止プロジェクト」及び「スマートムーブプロジェクト」の企画・実施	・「スマートムーブプロジェクト」はどのような内容なのか具体をご教示ください。	各移動手段における二酸化炭素排出量に着目し、より排出量の少ない移動手段への変容を促すもので、本プロジェクトで想定しているのは、自家用車使用から公共交通機関やシェアサイクルへの転換となります。既にご参集いただいているプロジェクトメンバーの環境に配慮した取組みの紹介や、共通広報等の普及啓発を展開する予定としております。
2	(1) 県民会議「脱炭素ライフ推進部会」及び「省エネ建築推進部会」の企画・運営 イ「マイボトル推進プロジェクト」「再配達防止プロジェクト」及び「スマートムーブプロジェクト」の企画・実施	・プロジェクトメンバーへの謝礼支払いの有無、及び県規程額の有無をご教示ください。	プロジェクトメンバーへの謝礼の支払いはありません。
3	(1) 県民会議「脱炭素ライフ推進部会」及び「省エネ建築推進部会」の企画・運営 イ「マイボトル推進プロジェクト」「再配達防止プロジェクト」及び「スマートムーブプロジェクト」の企画・実施	・脱炭素ライフ推進部会における3件のプロジェクトメンバーによる昨年度の打合せ実施回数及び各議題はどのような内容であったかご教示ください。	「マイボトル推進プロジェクト」及び「再配達防止プロジェクト」においては各プロジェクトともに2回打合せを実施しており、初回は当該年度事業計画の検討、2回目は事業詳細を検討又は確認しています。「スマートムーブプロジェクト」については1回開催し、キックオフとして協働できる取組みについて検討しました。
4	(1) 県民会議「脱炭素ライフ推進部会」及び「省エネ建築推進部会」の企画・運営 エ 省エネ建築推進部会主催のセミナー・勉強会の企画・実施	・セミナー・勉強会への参加募集方法及び集客人数の目安をご教示ください。	昨年度は発注者において、県ホームページへの掲載並びに県民会議参加企業及び補助金交付実績のある事業者へのメール等による周知を行いました。 集客人数の下限は設定していませんが、昨年度実績（26名）程度の集客人数を見込んでおります。
5	(2) 県民会議総会の企画・運営 ア 開催概要の想定は次のとおりとする。 ・開催回数は、1回とする。 ・開催時期は、令和8年10月又は11月の平日とする。 ・会場は、受注者が用意すること。	・会場として昨年実施した「CROSS B PLUS」や「宮城県庁講堂」は県の特別措置適用による借用は可能かどうかご教示ください。	今年度は「CROSS B PLUS」及び「宮城県庁講堂」の借用は不可です。
6	(4) 県表彰制度「みやぎゼロカーボンアワード」の企画・実施 ア 候補者の掘り起こし 本表彰制度の目的に合致し、地球温暖化対策に資する優れた取組を行う候補者の掘り起こしを行い、応募を促すこと。	・昨年度の候補者掘り起こしおよび応募の促しでどのような方法で実施したかご教示ください。	優れた取組を行っている団体等に関する情報収集を行い、個別に声掛けを実施しました。 なお、発注者においては、県の既存の広報媒体を活用して周知を行っています。
7	(5) 「みやぎゼロカーボン学生アンバサダー」活動コーディネート	・アンバサダーの人数に指定などはあるでしょうか。	15名程度を想定しています。
8	(6) 広報の企画・実施 ア 上記(1)及び(3)～(5)の実施に当たっては、地球温暖化対策に関する既存の広報媒体上で実施する広報を企画し、そのコンテンツを制作すること。 【県の既存の広報媒体】 ・県運営の地球温暖化対策情報発信ポータルサイト ・県公式ホームページ ・スマホアプリ「ecoチャレンジみやぎ」 ・SNS（Instagram及びX）	・各媒体の運用・更新作業は発注者と受注者どちらが行うのでしょうか。	各媒体の運用・更新作業は発注者で実施し、各媒体に掲載するコンテンツの企画・制作を受注者が行います。